

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.1.15.25合併号 No.369 羽村平和委員会発行



第130回横田基地撤去を求める座り込み 108人参加

19日(日)の座り込みは前日の雨から一転し、晴れました。集会では、ビーフォス・ビーフォア問題、安保条約問題、辺野古の問題などが語られ、三多摩青年合唱団が新春の歌声をきかせてくれました。甘酒が、地元福生の新婦人の会で用意され、おいしくいただきました。



陸自習志野演習場の降下訓練始め 横田基地所属の輸送機が

1月12日(日)、陸上自衛隊・習志野演習場で「降下訓練始め」が行われ、横田基地から横田基地所属の輸送機C-130J-30に日米隊員が乗り込み、習志野演習場で、パラシュート降下をしました。輸送機は3機が使用されました。自衛隊機からのパラシュート降下もあり、およそ300人が参加したそうです。日米一体化が進んでいます。



横田基地近くの井戸から 有害物質が検出

1月6日付け「朝日新聞」に、横田基地近くの井戸から、米環境保護局の飲み水の水質管理の目安となる勧告値70ナノグラム/リットルを超える有機フッ素化合物(ビーフォス、ビーフォア)が検出されたとの報道に衝撃が走りました。

東京都が調べた4カ所の井戸のうち2カ所が勧告値を超え、立川市の井戸からは1340ナノグラム/リットル(勧告値の19倍)、武蔵村山市の井戸からは143ナノグラム/リットル(勧告値の2倍)が検出されたのです。

2/24(月・休)午後2時~4時(予定)

羽村市ゆとりぎ・サレセプションホール(羽村市ゆとりぎ1-10-9)

参加費:500円(賛同カンパ大歓迎)

有害物質・PFOS, PFOA

(有機フッ素化合物)を知り、

汚染をなくすための学習会



2019年5月15日(水)

化学物質“水汚染” リスクとどう向き合 うか

クロ現+より **資料**

出演者

宮田裕章さん (慶應義塾大学教授)

石井光太さん (作家)

武田真一 (キャスター)

高山哲哉 (アナウンサー)

焦げつかないフライパン、水をはじく衣類、消火剤・・・。
こうした便利な製品にかつて使われていた「有機フッ素化合物」の一つPFOA。環境への蓄積性や発がん性などがあることが分かり、2019.5、今月、国際条約で禁止された。いま、日本の各地で河川などから検出されているが、基準がないために対策が遅れている。便利な生活と隣り合わせの化学物質の問題とどう向き合えばよいのかを考える。

便利な物質が水汚染 首都圏・近畿でも検出

今、ある物質によって飲み水が汚染される事態が世界各地で相次いでいます。今月(5月)開かれた国連の会議。汚染の原因となる物質の製造と使用の禁止が決議されました。

有機フッ素化合物の1つ「PFOA(ピーフォア)」。20年ほど前まで、焦げつかないフライパンや、水をはじく服など身近なものから、自動車、半導体まで、幅広い用途に使われていました。

自然界ではほとんど分解されないため、工場などから漏れ出したこの物質が、今も環境中に残り、水を汚染。それを長期的に飲んだ人の中に、がんなどの健康被害を訴える人が出てきています。

武田：水や油をはじく性質を持ち、熱に強いPFOA。ご覧のような幅広い用途にかつて使われていました。

こうした製品からの人体への影響は小さいとされていますが、分解されることがほとんどないことから、永遠の化学物質「フォーエバー・ケミカル」とも呼ばれ、今も環境中に残っていることが問題になっています。有機フッ素化合物は数千種類あり、その中で特に毒性が明らかになったPFOAは、今月、国際条約で製造、使用が原則禁止されました。同じような物質には、10年前に禁止された「PFOS(ピーフォス)」というものもあります。今、その影響が国内外に広がっています。

PFOA 2019年禁止



今回の有機フッ素化合物、PFOAの禁止のきっかけの1つとなったのが、2000年にアメリカで起きた健康被害です。大手化学メーカー「デュボン社」。かつて、調理器具などを作るために、大量のPFOAを製造していました。

排水に混ざったPFOAが川に流され、飲み水を汚染。周辺の住民の体内に取り込まれていったのです。

工場の下流50キロの町に住む、アール・ボドキンさんです。およそ10年間、汚染された水を飲み続けていました。22年前、下痢や下血が続く難病、潰瘍性大腸炎を患い、大腸を摘出する手術を受けました。



被害者 アール・ボドキンさん

「病氣は、私の人生を完全に壊してしまいました。私はいつもトイレの近くにいなければなりません。食事をはじめ、できることはずっと限られてきました。私のような人は、もう二度と出てほしくない。」

PFOAと健康との関連は、工場周辺の住民7万人の調査から明らかになりました。住民たちの血液中のPFOAの濃度の平均は、アメリカ人全体の20倍に達していました。

中でも、血中濃度が高い人たちでは、低い人たちに比べて、6つの病気の発症率が上昇していました。ボドキンさんが発症した潰瘍性大腸炎や腎臓がんなどです。(続く)

